

対ウルグアイ東方共和国事業展開計画

2016年4月 現在

基本方針 (大目標)	持続可能な開発への支援
---------------	-------------

重点分野 1 (中目標)	格差是正・環境保全
-----------------	-----------

開発課題 1-1 (小目標)	【現状と課題】 ウルグアイ経済は堅調な成長を続けているものの、経済の持続的成長を維持するためには、依然として大きい国内の格差是正が課題である。格差是正のための個別の課題としては以下の課題がある。 一点目は、25歳以上の成人の約50%が義務教育(初等・中等教育合わせて10年間)を修了しておらず、主に低所得者層の青少年が教育課程からドロップアウトする傾向が続いている。格差是正のためにはこの状況の改善が課題である。 二点目としては、特に、貧困率が高い地域や農村部では、保健医療サービスや社会福祉サービスへのアクセスが経済的・物理的に難しい状況で都市部との格差が大きく、状況の改善が課題である。 三点目は、中央・地方の行政組織等の機能が十分発揮されていないため、経済的・社会的弱者の格差是正が進んでいない状況にある。この状況を改善するために、行政組織の改革と関係制度の整備が課題である。			【開発課題への対応方針】 我が国にとって、ウルグアイは食料、木材資源の安定的な供給源となる可能性を秘めている一方、ウルグアイ側も日本市場に大きな関心を寄せている。これまでの協力実績を考慮しつつ、草の根・人間の安全保障無償資金協力、研修事業及びシニア海外ボランティア派遣等を中心とした支援を実施する。								
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
格差是正	初等教育及び職業訓練強化プログラム	低所得者層を対象とする基礎教育、青少年及び成人の雇用機会を増進するための職業訓練に対し、草の根無償、課題別研修等を通じてドロップアウト率の高い初等教育強化、職業訓練強化を図る。	教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.1	
			教育分野の課題別研修他	課題別研修他								
	保健医療・社会福祉サービス改善プログラム	草の根無償、課題別研修他を通じて、特に貧困率の高い農村部における保健医療・社会福祉サービスの向上を図る。	保健医療・社会福祉分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.6	
			保健医療・社会福祉分野のシニア海外ボランティア派遣	SV								
			保健医療・社会保障の課題別研修	課題別研修他								
			2015年～2020年乳幼児政策策定支援	マルチ							0.60百万米ドル	米州開発銀行日本特別基金(JSF)
			国家保健サービス機構所属病院への電子カルテ導入	マルチ							0.85百万米ドル	JSF
		ウルグアイの大都市圏における脆弱高齢者の生活の質向上支援	マルチ							0.85百万米ドル	米州開発銀行日本特別基金貧困削減プログラム(JPO)	
	政策立案・制度整備強化プログラム	中央行政、地方行政、税関、警察等における人材育成に資するため、課題別研修他を通じて政策立案・制度整備強化を図る。	政策分野の課題別研修他	課題別研修他								

開発課題 1-2 (小目標)	【現状と課題】 ウルグアイ政府は1994年に気候変動枠組条約、2000年に京都議定書、2014年に水銀に関する水俣条約を各々批准している。また、2015年6月にはラムサール条約締約国会議をブンタ・デル・エステで開催する等、環境面で国際的役割を果たしており、水質汚染を始めとする環境問題対策には積極的に対応している一方、サンタルシア川等の河川における都市排水、工業廃水、廃棄物などによる水質汚染が懸念されていること、首都圏におけるリサイクルシステムが十分に機能していないこと等の環境問題を抱えている。 また、ウルグアイは石油、石炭、天然ガスが産出されず、国内資源による発電の大半は水力に限られている。このため、大規模な干ばつの発生により、エネルギー需給のひっ迫、火力発電所の稼働率上昇によるCO2排出量の増加、経済活性化の抑制といった問題が生じる。近年、政府はこうした問題を解決すべく、海底資源の探査を実施するとともに、風力やバイオマス等の再生可能エネルギーの導入を積極的に実施している。			【開発課題への対応方針】 ウルグアイ国内における環境問題に対しては、現政権の取組及びこれまでの協力実績を考慮しつつ、研修事業等を活用した支援を行う。また、ウルグアイにおける再生可能エネルギーの導入を推進すべく、無償資金協力による太陽光エネルギー導入計画を軸として、研修事業等によって右分野の人材育成を支援する。								
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
環境・エネルギー 問題対策	環境問題対策プログラム	課題別研修他を通じて、環境問題対策の充実を図る。	環境分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	2015年度以前	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	0.1	
			環境分野のシニア海外ボランティア派遣	SV								
			環境分野の課題別研修他	課題別研修他								
			ラプラタ川沿岸部の水銀モニタリング・環境対策支援	個別専門家								
	エネルギー安定供給プログラム	環境プログラム無償を中心としたエネルギー関連の援助により、再生可能エネルギーの導入を促進する。	太陽光を活用したクリーンエネルギー導入計画	無償							7.3	
		エネルギー分野の課題別研修他	課題別研修他									
その他												
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
	その他個別の案件		経済分野の課題別研修他	課題別研修他	2015年度以前	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度		

【凡例】 「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=青年海外協力隊)、「SV」(=シニア海外ボランティア)、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(=水産無償資金協力)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協カスキーム)、「中小企業支援」(=中小企業海外展開支援事業「基礎調査」、「案件化調査」及び「普及・実証事業」、並びに中小企業連携促進基礎調査)、実線「———」(=実施期間)、破線「- - - -」(=実施予定期間)

※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。